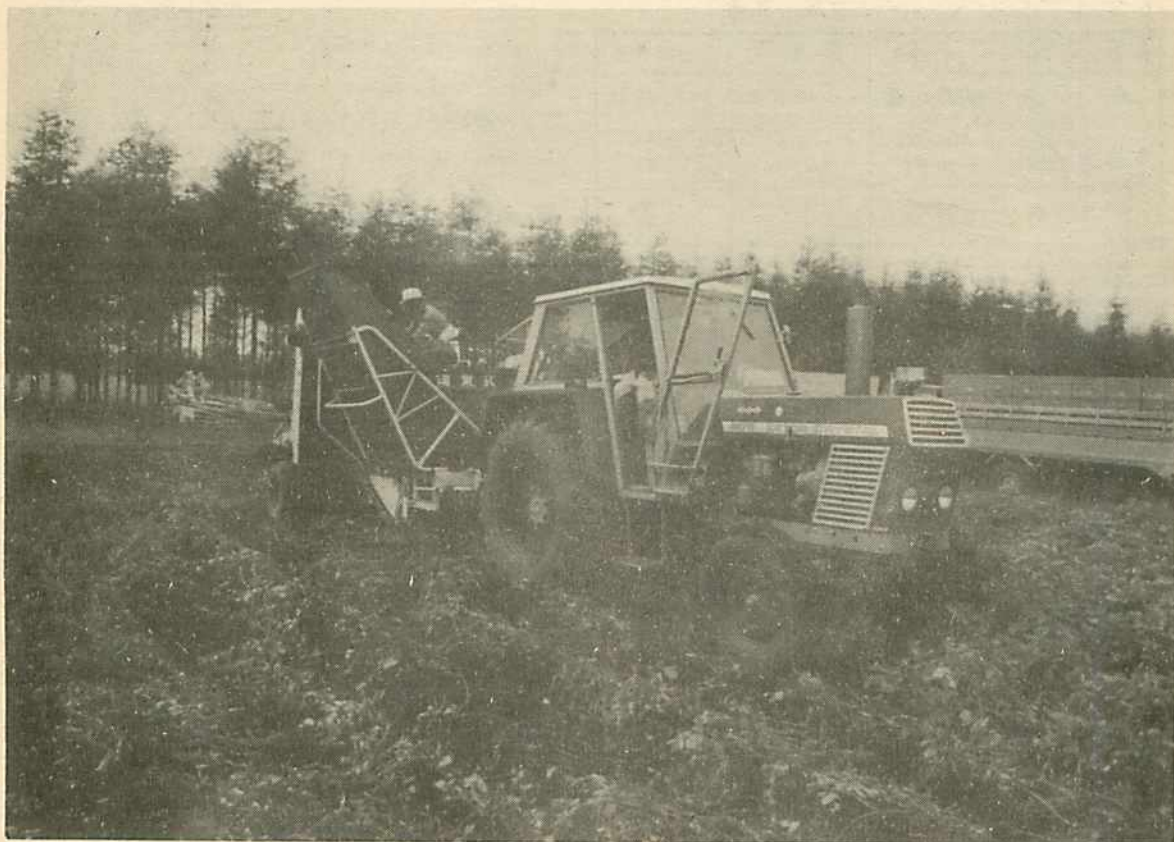


(1) 組合だより

組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合

発行 昭和54年10月1日 第44号 印刷・アート印刷株式会社



今年も秋の収穫シーズンがやってきた。毎年この時期には農作業が集中し、事故が多発する傾向がある。すでに道内では今年も、トラクターの転倒などで尊い命を失うといういたましい事故が起きているし、そのほか負傷事故も多発している。

このような悲惨な事故を防ぐため道では北海道農作業安全運動推進本部と協力しながら、秋（九～十月）の農繁期を重点に、農作業の安全運動を強力に推進し、事故の防止を呼びかけている。

機械を使用するときは次のことに十分注意し、事故をおこさないように、常に心がけるよう啓発したい。

- 日常の点検整備を完全にすること。
- 休養を十分とり、無理な作業はしないこと。

● 適切な服装で作業をすること。
● 子供を機械に近づけないようにする。
このほか、死亡事故の大半はトラクターの転倒や転落が原因となっているので、これを防ぐため安全フレームを装着することが重要である。

(3) 組合だより

昭和52年度保証乳価は、基準取引価格64円29銭、補給金24円58銭、計88円87銭で決定し、ほかに乳質改善奨励金として1円75銭上のせされ、実質、脂肪率3.2%の加工原料乳は1kg当り90円62銭となったことは周知のことと存じます。

しかし、毎月皆様のもとにいております生乳代金精算書を御覧になって、前記単価でないことにお気づきのことと思います。今回は組合長の52年8月生乳代金精算書をお借りして、乳価の仕組み、乳代精算書の見方、乳価諸条件の説明を致します。

乳 価 を

1. 生乳単価および補給金単価

昭和52年度保証乳価(3.2%)

| | | |
|------------|------|--------|
| 1) 基準取引価格 | kg当り | 64円29銭 |
| 2) 補給金 | kg当り | 24円58銭 |
| | 計 | 88円87銭 |
| 3) 乳質改善奨励金 | | 1円75銭 |
| | 合計 | 90円62銭 |
| 4) 2等乳 | | 17円17銭 |

2. 生乳代金精算書の見方

前述の生乳単価に基づいて、農家個々の乳代が精算されます。次に生乳代金精算書の見方を(表1)に基づいて説明いたします。

(1) 乳量および脂肪量

8月1カ月間の1等乳量は14,277,0kgであり、脂肪量は乳検センターにて旬毎に3回脂肪率検査を実施しておりますが、その脂肪率に旬毎の乳量を乗じたもので、483kg157となっております。

(2) 乳代合計金額

1等乳量および脂肪量に前述の量目単価、脂肪単価を乗じたものです。

$$14,277\text{kg} \times 36\text{円}2767 = 517,922\text{円}$$

$$483\text{kg}157 \times 1,000\text{円} = 483,157\text{円}$$

$$\text{乳代合計 } 517,922\text{円} + 483,157\text{円} = 1,001,079\text{円}$$

(3) 補給金

1等乳量に補給金単価を乗じたものです。

$$14,277\text{kg} \times 21\text{円}0106 = 299,967\text{円}$$

(4) 控除金額

乳代から控除されるものは次の通り種々あります。

① A 2 検査料

酪農検査所の検査料 1kg当り 15銭

$$14,277\text{kg} \times 15\text{銭} = 2,141\text{円}$$

② A 4 販売手数料

農協手数料 0.5% (乳代の)

$$1,001,079\text{円} \times 0.5\% = 5,005\text{円}$$

③ A 5 販売手数料(ホクレン)

ホクレン手数料 0.5% (乳代の)

$$1,001,079\text{円} \times 0.5\% = 5,005\text{円}$$

④ A 6 農協集乳費

牛乳集荷費 1kg当り 1円50銭

$$14,277\text{kg} \times 1\text{円}50\text{銭} = 21,415\text{円}$$

⑤ A 8 農協酪対費

1kg当り 9銭

$$14,277\text{kg} \times 9\text{銭} = 1,284\text{円}$$

⑥ A 9 賦課金

乳代の14/1,000

$$1,001,079\text{円} \times 0.014 = 14,015\text{円}$$

⑦ B 1 営農貯金 2%

⑧ B 2 経営近代化貯金 2%

⑨ B 3 出資予約貯金 2%

(5) 組勘に振込まれる乳代および補給金組勘に振込まれる乳代は乳代合計-控除合計で、1,001,179円-108,928円=892,151円、補給金は297,967円、合計1,192,118円が8月分の畜産収入(乳代)となります。

3. 昭和52年度取引条件

毎年乳業メーカーと交渉して決定される。

1) 乳質格差金・細菌数 0.1 (200万以下) に対し1kg 2円

●メーカーとしては今年度は無脂固形8.4%以上の生乳を対象に支出したいとして難航し最終的には道の幹施により決定される。

●実際の配分は細菌数0と1に対し2:1の比率で配分されるので0の牛乳が多いほど配分金額が多くなる。又毎月支払い単価の違うのもこのためである。尚農協では配分された金額を0.1、プールにして支払っております。

2) バルク乳経費 kg当り 2円35銭

●内50銭を提出して戴きバルク対策、私道整備等の対策費として使うようにしております。

3) 生乳成分研究促進費 kg当り 10銭

あくまでも生乳成分の研究費として使われるので農家には支払われない。

獣医師から一言

「不妊」は経営の大敵 (2)

雪印中標津工場 芳野 誠

先月号では、繁殖障害の原因や飼養管理での注意することを書きましたが、今月は、日頃私達が往診をしていて気をつく点を触れてみました。

三週間は良質の粗飼料を主体に給与し、又、運動に依って悪露を早く排出させねばなりません。
(2)悪露の排池状態は子宮回復の目安です。

●尿腫も不妊の原因になります。尿が膀胱に逆流して貯溜するものを尿腫といいます。これは、老令、栄養不良、病弱などによって瘦削し膀胱の弛緩によって発するものです。

分娩直後には多量の赤褐色の悪露を排泄し次第にチヨコレート様になり約二週間後には灰白色になり、透明化していきます。多少の滲濁液の排泄物を暫らくは継続することはありますが、約二週間後の状態に注意して下さい。

この状態になれば多くは子宮は弛緩し子宮頸は弛緩して哆開することが多く妊娠の見込みはむしろ悪くなる場合があります。したがってこの治療には先づ体力の増強を図ることを第一として、病状軽度のものには種付前の洗浄を試みます。

褐色の悪露が長く続く時には子宮内膜炎の発症がうかがわれますから四〇日前には検診をしてもらうことが大切です。

●子宮の悪いものは受胎しません。
(1)先月号でも説明しましたが、分娩後、妊娠できるまでに子宮が回復するのに要する日数は平均約四〇日です。

(3)後産産滞後の悪露の状態には注意しましょう。
後産産滞後の悪露は通常よりも長く続くことがあります。特に膿様物が混ついているときは子宮蓄膿症の心配がありますから注意をし度いものです。子宮蓄膿症の原因はその他にもいろいろありますが、もしこの病気になる治療は長期に亘ることが多いものです。

分婣後では、繁殖障害の原因や飼養管理での注意することを書きましたが、今月は、日頃私達が往診をしていて気をつく点を触れてみました。

分婣直後には多量の赤褐色の悪露を排泄し次第にチヨコレート様になり約二週間後には灰白色になり、透明化していきます。多少の滲濁液の排泄物を暫らくは継続することはありますが、約二週間後の状態に注意して下さい。

分婣後では、繁殖障害の原因や飼養管理での注意することを書きましたが、今月は、日頃私達が往診をしていて気をつく点を触れてみました。

分婣直後には多量の赤褐色の悪露を排泄し次第にチヨコレート様になり約二週間後には灰白色になり、透明化していきます。多少の滲濁液の排泄物を暫らくは継続することはありますが、約二週間後の状態に注意して下さい。

いるの状態があります。検診でわかることが多いのですが、発情時の粘液や、通常時の粘液等の異常に注意しましょう。子宮と卵巣をつなぐ管を卵管といいますが、人工授精をした精子と排卵をした卵子は、卵管部で合体をしこの受精卵が子宮に下りて根づくこととなります。この状態が着床をして受胎することになります。ですから排卵が完全に行われても「ハタケ」が悪くては受胎はできないのです。

●一方、「ハタケ」がよくても卵巣の状態が悪ければ当然受胎はしません。卵巣の疾患もいろいろのものがありますが、多くは、分娩前後の飼料給与状態や、搾乳時の飼養管理の失宜によって起ることが多いものです。

又、卵巣に関係するホルモンは子宮や泌乳に関与するホルモンとのつながりは密接ですから、このことも飼養管理面の影響の大きいことのアラわれです。

(1)発情のこないもの
●卵巣静止、卵巣萎縮とよばれるものがありますが、殆んどは卵巣の栄養の悪いもの、或るいはビタミンの不足によって生ずることがあります。

特に、冬期間に発情のこないものにビタミンA、D、Eを投与、注射をすると治癒することが多いものです。したがって、冬期間の日光浴の大事なことの証左でもあるわけです。

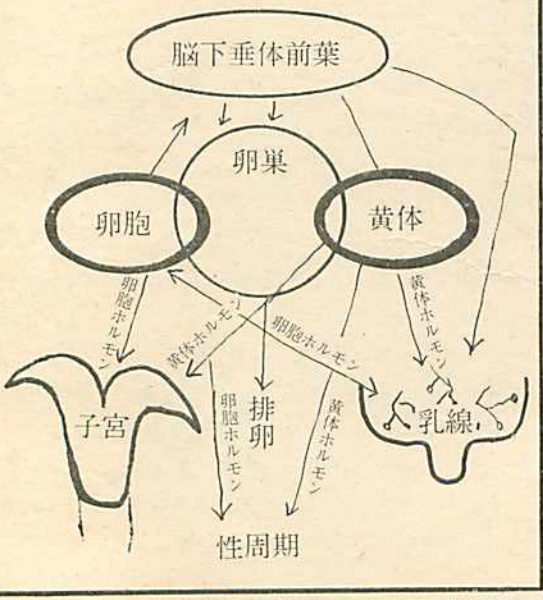
(2)黄体遺残症とよばれるものも発情がきません。通常、排卵をすると黄体というものですが、この黄体が消失しないで長期に遺残するものです。能力の高い牛に多発することからみて濃厚飼料の過給や飼養管理の失宜に重要な関係があります。

(3)卵巣のう腫は、皆さんも御存知の病気の一つです。飼養管理に密接な関係があり、特に優良なる乳牛に多発をしやすい、濃厚飼料の多給或は配合の不均衡、泌乳過多、カルシウム分の不足、運動不足などに依るものです。しかし又、乳牛の栄養不良、カロリ不足によっておこることも見受けられます。

卵巣を泌乳とのホルモンは密接な関係がありますが、卵胞のう腫になると泌乳量が下がるものです。ですから卵のう腫が治癒してくると、乳量も若干づつですが増してくるものなのです。

繁殖障害にはまだまだいろいろな原因や状態がありますが、気をつく点について触れてみました。

ホルモンと生殖器の関係



のビタミンA、D、Eを投与、注射をすると治癒することが多いものです。したがって、冬期間の日光浴の大事なことの証左でもあるわけです。

(2)黄体遺残症とよばれるものも発情がきません。通常、排卵をすると黄体というものですが、この黄体が消失しないで長期に遺残するものです。能力の高い牛に多発することからみて濃厚飼料の過給や飼養管理の失宜に重要な関係があります。

(3)卵巣のう腫は、皆さんも御存知の病気の一つです。飼養管理に密接な関係があり、特に優良なる乳牛に多発をしやすい、濃厚飼料の多給或は配合の不均衡、泌乳過多、カルシウム分の不足、運動不足などに依るものです。しかし又、乳牛の栄養不良、カロリ不足によっておこることも見受けられます。

卵巣を泌乳とのホルモンは密接な関係がありますが、卵胞のう腫になると泌乳量が下がるものです。ですから卵のう腫が治癒してくると、乳量も若干づつですが増してくるものなのです。

繁殖障害にはまだまだいろいろな原因や状態がありますが、気をつく点について触れてみました。

(5) 組合だより

乳質改善情報

酪農課

九月十二日から十六日まで、農業改良普及所、雪印乳業の協力により、乳質改善全戸巡回が行われました。今回は乳房炎の治療等、

抗生物質使用の牛乳に対する注意と、パイプラインによる水の混入防止を重点にし、併せて搾乳器具の洗浄保管、バルククーラーの洗浄、処理室、牛舎環境の清掃整理等についてもチェックが行われた

特に目立ったのは搾乳器具の洗浄で全体の三分の一がミルックロー、或はライナー等にと洗浄不良が指摘された。

このことは表に示すように、レサズリンの検査において「0」の比率が昨年より低下して居る事にもつながっている。

以下主な事項について結果報告をし、良質乳生産に更に一層の努力をされる事を望みます。

◎ ミルカーについて

(1)ミルックローに乳石が付着した例が多い。酸性洗剤を使用する事。

(2)ライナーに乳脂が付着している。もう少し丁寧に洗うよう、又ライナーゴム取替時期のものが相当あり乳房炎防止のために適時交換をする事。

◎ パイプラインについて

(1)ラインの中に水が残っているのが見受けられた。設置メーカーと話し合いで調整をする事。

(2)バキュームタツプ、サニタリトラップに乳石が付着しているのが見受けられた。酸性洗剤で洗い落す事。

◎ バルククーラーについて

排乳口の汚れが多い。排乳コックはその都度分解して洗浄するよう心掛ける事。尚コックの螺子廻し紛失された方は生乳係に用意してあります。(一ヶ千円)

◎ 牛舎環境について

処理室は物置ではないので常に整理整頓に努める事、又畜舎環境も、もう少し整備してほしいものです。

◎ 次にあげる生乳は絶対に合乳しないこと。

1.乳房炎に患っている牛からの生乳。

2.分娩後五日以内の生乳。

3.抗生物質等薬剤を使用して、三日以内の生乳。

4.ワクチン等の生物学的製剤を注射して著しく反応を呈する生乳。

5.その他の異常乳。

最近特に抗生物質乳の混入が問題になっております。抗生物質を使用した場合には三日(七十二時間)後、工場へサンブルを送り、検査をうけてから合乳出荷する事が大切です。

レサズリン検査成績比較表

| 月別 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | (100) |
|-------|------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------|-------|
| 4月 | (60.2) [±] 61.4 | (31.7) [±] 33.6 | (7.8) [±] 4.9 | (0.3) [±] 0.1 | (-) [±] - | (-) [±] - | (100) |
| 5月 | (66.2) [±] 57.7 | (28.1) [±] 36.6 | (5.5) [±] 5.6 | (0.2) [±] 0.1 | (-) [±] - | (-) [±] - | (100) |
| 6月 | (62.3) [±] 59.5 | (31.3) [±] 34.7 | (6.4) [±] 5.8 | (-) [±] - | (-) [±] - | (-) [±] - | (100) |
| 7月 | (61.9) [±] 58.2 | (29.6) [±] 34.7 | (7.7) [±] 6.8 | (0.7) [±] 0.1 | (0.1) [±] 0.2 | (-) [±] - | (100) |
| 8月 | (57.9) [±] 59.3 | (34.9) [±] 33.9 | (6.5) [±] 6.4 | (0.7) [±] 0.4 | (-) [±] - | (-) [±] - | (100) |
| 9月 | (61.2) [±] 61.0 | (31.8) [±] 32.0 | (6.9) [±] 6.6 | (0.1) [±] 0.3 | (-) [±] 0.1 | (-) [±] - | (100) |
| 4月~9月 | (61.6) [±] 59.53 | (31.24) [±] 34.24 | (6.79) [±] 6.00 | (0.34) [±] 0.18 | (0.02) [±] (0.05) | (-) [±] - | (100) |

注 上段()内は51年度

9月15日現在 ホクレン相場

| 品目 | 規格 | 区分 | 価格(kg当り) | 摘要 | |
|--------|-----------|---------|----------|--------|--|
| 初生統 | 加工用 | 生後1~2週間 | 枝 | 410 | |
| | 哺育用 | 50kg以上 | 生体 | | |
| 肉用素牛オス | 200~250kg | 生体 | 460~470 | 府県渡し価格 | |
| | 251~300 | " | 470~480 | " | |
| | 301~350 | " | 480~490 | " | |
| | 351~400 | " | 490~500 | " | |
| | 401~ | " | 510上 | " | |
| 肉用素牛メス | 200~250 | " | 520~530 | " | |
| | 251~300 | " | 540~550 | " | |
| | 301~350 | " | 560~570 | " | |
| | 351~400 | " | 570~580 | " | |
| | 401~ | " | 580~590 | " | |
| 廃用牛 | ガリ物 | 枝 | 700中心 | " | |
| | 中 | パ | 800中心 | " | |

畜肉情報

畜産販売係

有珠山噴火災害農家に対する
友愛運動に御協力

ありがとうございます

先に組合員各位に文書にて御協力をお願いいたしました有珠山の被災農家に対する友愛運動に対して次の通り御協力をいただきましたのでお知らせします。

中標津農協組合員分

三六七戸 百二十一万五千円

◆内訳◆ 募金 二六万一千円

牧草 九万四千円

中標津農協

八万円 中標津農協職員 六万二千五百円

以上の通り北農中央会を通じ被災地へお送り致しました。御協力ありがとうございました。

誇りの酪農王国

盛大に開基60周年祝う

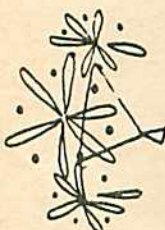
侯落部

酪農王国の拠点ともいべき侯落地区の開基六十周年を祝う記念式典と祝賀会が九月十五日開かれた。

午前十時から侯落小中学校屋内体育館で行なわれた記念式典には地元住民や来賓など合わせて二百人余りが出席。秋山勝彦さんはじめ六十人の開拓功労者を表彰し、村田町長、菅原町議会議長、児玉農協組合長らが祝辞を述べ、部落の人たちの功績をたたえた。

また、式典に先立って午前九時半から侯落会館前に建立された開拓記念碑を除幕、先人の労苦と業績を偲んだ。

侯落の開基は大正六年、根室支庁の指令で滝ヶ平繁三郎氏（故人）が初めて開拓のワクを入れた。ほかの開拓地と同様、昭和六、七年の凶作では飢饉寸前の苦しい目にも遭ったが次第に酪農地帯へと変ぼうを遂げ、とくに戦後はいち早く機械化による大型、近代化酪農経営への道を進んだ結果、昭和四十四年には侯落拓地牧野組合が草地の全国コンクールで農林省畜産局長最優秀賞を受けるほどのレベルに達している。



乳質改善ニュース

ミルカー洗剤の 使い分けはなぜ必要か

ミルカーの洗剤は本当に二種類使わねばならないのでしょうか。どうして一種類ではいけないのでしょうか。結論から言えば、やはり二種類の洗剤が必要なのです。まず乳脂肪を主として除くためアルカリ洗剤で洗います（最近は中性洗剤：たとえばネオクリン中性：も使われています）これは毎回の搾乳後に必ず使わねばなりません。しかしこの洗剤は、脂肪分は落しても蛋白質やカルシウムなどは落すことができないので、これらが次第に溜って乳石となります。

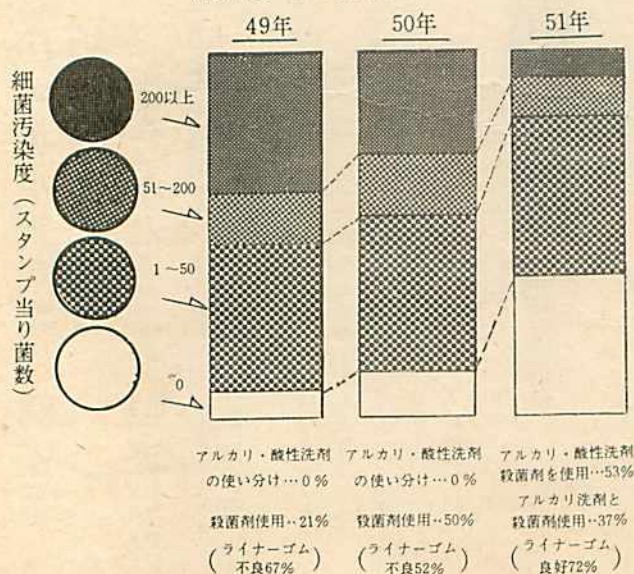
そこでこの乳石を落す酸性洗剤（たとえばネオクリン酸性）が必要になるのです。

この洗剤は週に一、二回使えばよいのです。

乳石がたまると乳質がわるくなる。牛乳の汚れは複雑なので、どうしてもこの二種類の洗剤を使い分けねばならないのです。

「乳石が落ちないが洗剤が悪いの

ミルカー・パケット内面の細菌汚染度
(汚染度による分類%)



す。洗剤は汚れを落す力はありません。すがバイ菌を殺す力はありません。たとえば少数の菌でも牛乳中に入ればドンドン増えるので危険なことには変わりありません。

殺菌消毒剤は毎回の洗剤洗いの後に、かならず使用しなければなりません。

なお、洗剤洗いで殺菌の後にはかならず、水ゆすぎをしましょう。水ゆすぎの回数は使用した洗剤や殺菌剤により異なりますが、ネオクリンパーコマルの場合は一回の水洗で十分です。

10月・11月

天気予報

札幌管区气象台

【概況】
 十月ははじめにかけては冷えこみの強い日があり山沿いや内陸では初霜を見るところがあります。また、十月後半から十一月はじめにかけては一時大陸の高気圧が発達し季節風の強まる時期があります。なお、この期間、日本に影響する台風は一個位の見込みです。

▼十月 移動性高気圧が北海道付近を通りやすいため、秋晴れの

日が多いみこみです。しかし、朝晩の冷えこみは強まり平野部でも霜がおりるようになります。平均気温は半年並みないしやや低く、降水量は少ない。

▼十一月 月はじめは季節風が強まり、日本海側では雪やくぐれの日が多いですが、その後、天気は周期的に変わり比較的温暖な日が多いでしょう。平均気温、降水量とも半年並み。

●電源開発のおくれのため、いま北海道の電気は赤信号です。

**節電にご協力を
 お願いいたします**

北海道電力より

一日皆貯金日

近づく

10月17日⇨20日

例年の通り十月十七日は、皆貯金日です。中標津農協も貯蓄運動にともない全力を上げて推進します。

貯蓄によって、不時の出費、教育、旅行と色々の目的の為に、将来不安のない生活を過ごしましょう。年を追うごとに理解も深まり、好成績をおさめてまいりました。

今年も昨年と同様に組合員のお宅に職員が全戸お伺いしますのでよろしくお願い致します。

近日中に貯金袋を皆様のお宅へお送りしまして「十月十七日より二十日まで四日間」の間に集金に参上致しますので、多少にかかわらずよろしく願います。

今年も、参加者全員、抽選により当せん者には粗品を差し上げます。



明日にむかって

大きな飛躍



農協の
大型定期積金

良質のサイレージを 充分に確保し有効に 利用しよう!!

冬期間の長い北海道では粗飼料は主にサイレージ、乾草、根菜という貯蔵した形態で給与しております。多汁質飼料としてのサイレージは乾草にくらべ生産費が低く又産乳効果もすぐれ、乳牛の嗜好性もよく通年給与することにより乳量の季節による変動が是正されることにもなります。サイレージ、乾草の通年給与と夏期間の放牧、冬期間の根菜給与の組合せが最適な飼料構造でありますから良質のサイレージ、乾草、根菜を充分に確保して乳牛の健康や牛乳生産の増産に努めたいものです。

サイロの切込み作業は大半終了した頃ですが、デントコーンはこれから始まる訳でサイロの手入れも早目に行い万全を期したいものです。空になったサイロには取り残しの固まりやカビ等がこびりついており変質の原因にもなりますから竹ボークで良く払い落としその後、消毒と内壁を保護するために生石灰を溶した石灰乳を全面に塗る様にしましょう。一度に塗れない場合は切り込みながら逐次塗っていきます。生石灰は一〇〇トンのタワーサイロで三缶もあれば充分に間にあいます。

サイロの取り出し口の蓋が完全でなく周囲にカビの発生等で腐敗することが割合多いもので、点検修理を忘れずに行いましょう。隙間を塞ぐには堅めの石灰乳を内側より塗りこませます。排汗の処理が悪いと酪酸が出来易く品質が落ち嗜好性も悪くなりますから事前に点検する必要があります。

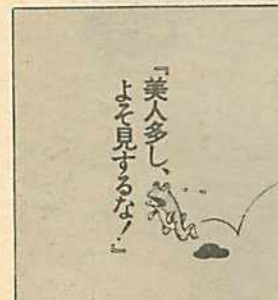
サイロの取り出し口の蓋が完全に下さい。水蓋は保管を良くすれば数年使用出来ますが空気や水漏れの有無を確認してから使用して下さい。水蓋を使用しない時はビニールカバーを上に肥料の空袋に土砂をつめた重しを内壁の周囲に重点的に置く様にして下さい。ビニールカバーをする場合、内壁にそって五〇センチ位ビニールの

サイロの切込み作業は大半終了した頃ですが、デントコーンはこれから始まる訳でサイロの手入れも早目に行い万全を期したいものです。空になったサイロには取り残しの固まりやカビ等がこびりついており変質の原因にもなりますから竹ボークで良く払い落としその後、消毒と内壁を保護するために生石灰を溶した石灰乳を全面に塗る様にしましょう。一度に塗れない場合は切り込みながら逐次塗っていきます。生石灰は一〇〇トンのタワーサイロで三缶もあれば充分に間にあいます。

サイロの取り出し口の蓋が完全でなく周囲にカビの発生等で腐敗することが割合多いもので、点検修理を忘れずに行いましょう。隙間を塞ぐには堅めの石灰乳を内側より塗りこませます。排汗の処理が悪いと酪酸が出来易く品質が落ち嗜好性も悪くなりますから事前に点検する必要があります。

サイロの取り出し口の蓋が完全に下さい。水蓋は保管を良くすれば数年使用出来ますが空気や水漏れの有無を確認してから使用して下さい。水蓋を使用しない時はビニールカバーを上に肥料の空袋に土砂をつめた重しを内壁の周囲に重点的に置く様にして下さい。ビニールカバーをする場合、内壁にそって五〇センチ位ビニールの

サイロにはいろいろな形式がありますが、何れにせよ良質のサイレージが出来るよう、また手入れ不良のため老朽化しないようこの時期に整備しておきましょう。



是非加入しましょう

美人多し、よそ見するな!

自賠責共済
自動車共済

協会の共済

青年部だより



即売会行なう

畑作部会

ものです。

トラック四台を繰り出しビニ-

ル袋に二十ヶ詰めにしたのを四〇

〇袋農協前に持ち込んだ。一袋八

〇〇円と市価の二二三割安とあつ

て、小雨の中でも、売れ行きは好

調だった。

農協青年部、畑作部会(亀代部
会長、部員二十五名)は共同耕作

した馬鈴薯を九月十日農協前広場
で安価販売した。

部会員は耕作技術を共同で学ぶ

一方、四年前から町民に地元産の

馬鈴薯を味わってもらおうとPR

を兼ね、毎年収穫前に行っている

いも掘りする部員

即売会風景



婦人部だより

農村花だんコンクール審査結果



年々充実した花だんが造られる

農村生活に潤いを与えようと北

根室地区農業改良普及所がこの度

行った「第六回農村花壇コンクー

ル」で最優秀賞に東武佐の白田政

子さんら十名が選ばれた。

今年のコングールには中標津、

計根別、標津の各農協の婦人部員

八十九人が参加、このほど普及所

農協の係員が各農家を回り、花の

種類と配色、全体的な調和、病害

虫の防除や除草、住宅にマッチし

た花壇の位置などを審査した。

入賞者は次の通り

(中標津農協のみ)

▲最優秀賞 ▼十名

白田政子 安達花枝(東武佐)

中司君子 酒井拓子(俵橋高台)

飯持フサ子(南俣落)、元 政子

(南中)

▲優秀賞 ▼十六名

熊谷芳子(南武佐)、上藤和枝

(共成)、山田英子(北開陽)、

丹羽タカ 丹羽ミチエ(俵橋高台)

、小森ミチ、立川花子、新谷富

美子(東武佐)、正城よし子(南
中)、丸田ヤス(開陽)

▲優良賞 ▼十七名

長野君子(俵橋高台)、板橋文

代(東俣落)、鈴木初子(開陽)、

滝ヶ平静子(北光)、坂口マサ(

東武佐)、桜井タマ(南中)、星

サタヨ(西武佐)、新井政子(西

共栄)、来栖多美子(北進)、阿

部久恵(当幌)、川上春代(東武

佐)

▲奨励賞 ▼二十名

佐藤房子(南中)、服部つる子

遠藤サト(東俣落)、半沢利津

子 武田文子(西共栄)、山崎千

鶴子(南俣落)、苫米地静子(西

開陽)、菅原キリ子(東共栄)

一日旅行終る

事業計画に基づいて九月七日農

協婦人部主催で一日旅行を行なつ

た。参加者は安達部長をはじめ九

十八名で阿寒バス二台に乗り、羅

白へと走った。

途中、羅臼展望台に上がり海岸

をみて、そのあと名所の「光ごけ

をながめた。

正午前羅臼第一ホテルで休けい

昼食をとり、風呂に入ったり体を

やすめたりしたあと、田中副部長

の司会で歌やおどりを楽しんだ。

| 組合員名 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 組合員名 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 組合員名 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 組合員名 | 上旬 | 中旬 | 下旬 |
|---------|----|----|---------|----------|----|----|----|----------|----|----|----|------|----|----|----|
| バ 藤原勝一 | 0 | 0 | 0 | バ 山崎 翠 | 1 | 1 | 1 | バ 八木原明治郎 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| バ 秋山実太 | 0 | 0 | 0 | バ 藤田 貞蔵 | 0 | 0 | 1 | バ 中浦健夫 | 0 | 0 | 1 | | | | |
| バ 佐藤春行 | 2 | 2 | 0 | バ 藤田 誠一 | 0 | 0 | 0 | バ 前原秀隆 | 0 | 1 | 0 | | | | |
| バ 佐藤一二 | 0 | 0 | 0 | バ 剣持幸男 | 0 | 0 | 0 | バ 町田芳照 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| バ 清原由太郎 | 0 | 0 | 0 | バ 遠藤与畏二 | 0 | 0 | 0 | バ 房川喜清 | 1 | 1 | 0 | | | | |
| バ 湯山 稔 | 2 | 2 | 0 | バ 宮田正晴 | 0 | 0 | 0 | バ 宮脇正治 | 1 | 2 | 1 | | | | |
| バ 湯山幸男 | 0 | 0 | 0 | バ 鷺見孝男 | 2 | 1 | 0 | バ 滝宮信孝 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| バ 三宅 要 | 1 | 0 | 0 | バ 真部 愈 | 0 | 0 | 0 | バ 富沢保男 | 1 | 1 | 0 | | | | |
| バ 門馬四郎 | 0 | 0 | 0 | バ 渡辺利秋 | 1 | 0 | 0 | バ 富谷村茂夫 | 2 | 1 | 2 | | | | |
| バ 中塚文夫 | 1 | 0 | 1 | バ 田代良司 | 1 | 1 | 2 | バ 武田三郎 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| バ 石原竜雄 | 1 | 1 | 1 | バ 相沢武雄 | 0 | 0 | 0 | バ 藤井弘美 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| バ 西井 武 | 1 | 1 | 1 | バ 太田俊昌 | 0 | 0 | 0 | バ 北村一仁 | 2 | 0 | 0 | | | | |
| バ 土井上友一 | 0 | 0 | 0 | バ 古瀬敏弘 | 1 | 0 | 0 | バ 杉本匡視 | 0 | 1 | 1 | | | | |
| バ 土井上政雄 | 0 | 1 | 0 | バ 小谷盛一 | 0 | 0 | 0 | バ 佐藤載康 | 0 | 1 | 0 | | | | |
| バ 小沼佐太男 | 0 | 2 | 4 | バ 秋山政雄 | 0 | 0 | 0 | バ 松本金市 | 1 | 1 | 1 | | | | |
| バ 熊谷 正 | 0 | 0 | 0 | バ 斉藤富吉 | 1 | 1 | 0 | バ 飲野一郎 | 1 | 0 | 0 | | | | |
| バ 山本雪信 | 2 | 1 | 0 | バ 広瀬定夫 | 1 | 0 | 0 | バ 横田国雄 | 0 | 0 | 1 | | | | |
| バ 真野米光 | 0 | 0 | 1 | バ 半沢勇雄 | 1 | 1 | 1 | バ 竹下日吉 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| バ 寺島今朝松 | 0 | 0 | 0 | バ 笠原良夫 | 0 | 2 | 0 | バ 柳田治郎 | 2 | 0 | 1 | | | | |
| バ 佐藤憲治 | 1 | 1 | 1 | バ 武田伊三郎 | 0 | 0 | 1 | バ 青木喜三 | 1 | 0 | 0 | | | | |
| バ 佐藤忠男 | 0 | 0 | 1 | バ 後木 章 | 1 | 0 | 0 | バ 青木重次 | 1 | 1 | 1 | | | | |
| バ 佐藤和夫 | 0 | 0 | 1 | バ 久保花次郎 | 0 | 0 | 0 | バ 関又左工門 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| バ 塩田専治 | 3 | 0 | 3 | コ 松本豊治 | — | — | — | バ 横田好一 | 2 | 1 | 1 | | | | |
| バ 五十嵐徳次 | 0 | 0 | 1 | バ 新井 真 | 0 | 0 | 1 | | | | | | | | |
| バ 田中清司 | 0 | 1 | 0 | バ 片野 博 | 0 | 0 | 1 | | | | | | | | |
| バ 山本秀夫 | 1 | 0 | 0 | 第二俣落地区 | | | | | | | | | | | |
| バ 安達武蔵 | 0 | 0 | 0 | バ 西村徳守 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| バ 志賀安尾 | 0 | 0 | 1 | バ 保科 清 | 1 | 1 | 0 | | | | | | | | |
| バ 志賀正治 | 0 | 0 | 0 | バ 松岡喜代之助 | 1 | 1 | 0 | | | | | | | | |
| バ 篠永鉄雄 | 0 | 0 | 0 | バ 田代 昭 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| 俣落地区 | | | バ 井ノ口定則 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | |
| バ 原 藤子 | 0 | 0 | 0 | バ 安江八五郎 | 1 | 1 | 0 | | | | | | | | |
| コ 大木敏夫 | — | 1 | 0 | バ 剣持広昭 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| コ 小林金司 | 1 | 1 | 2 | バ 斉藤 別 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| バ 板橋松寿 | 1 | 1 | 0 | バ 峰松秀樹 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | |
| バ 岩井 昇 | 1 | 0 | 1 | バ 山口広幸 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | |
| バ 服部一好 | 0 | 1 | 0 | バ 沖 一美 | 1 | 1 | 0 | | | | | | | | |
| バ 遠藤太一 | 0 | 0 | 0 | バ 片岡宅次 | 1 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| バ 遠藤幸吉 | 0 | 0 | 0 | バ 弾正原正春 | 0 | 1 | 1 | | | | | | | | |
| バ 高橋正三 | 1 | 0 | 0 | バ 国光 昭 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| バ 松村晴由 | 0 | 0 | 0 | バ 遠藤直行 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| バ 小山美芳 | 0 | 0 | 0 | バ 佐伯証次 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | |
| バ 本村正春 | 0 | 0 | 0 | バ 来栖 寛 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| バ 菅原 清 | 0 | 1 | 0 | バ 川村清身 | 1 | 0 | 1 | | | | | | | | |
| バ 上村太平 | 0 | 1 | 0 | バ 加藤 繁 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| バ 上村政則 | 0 | 0 | 0 | バ 萩原蝶七 | 0 | 0 | 1 | | | | | | | | |
| バ 上村力 | 1 | 1 | 1 | バ 星野昇司 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| バ 松本 勇 | 0 | 1 | 1 | バ 星野盛恵 | 0 | 1 | 1 | | | | | | | | |
| バ 藤原信男 | 0 | 1 | 0 | バ 滝本勇雄 | 1 | 1 | 0 | | | | | | | | |
| バ 遠藤忠義 | 1 | 0 | 1 | バ 滝ヶ平初美 | 0 | 0 | 1 | | | | | | | | |
| バ 山下鉄男 | 0 | 0 | 0 | バ 滝ヶ平 茂 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| バ 阿部幸一 | 1 | 0 | 1 | バ 滝ヶ平妓夫 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | |
| バ 上ヶ島春雄 | 1 | 0 | 0 | バ 内山 勲 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |

旬別個乳検査成績 (ランク別戸数)

| ランク別旬 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 合計 |
|-------|------|------|-----|-----|-----|---|-----|
| 上旬 | 188 | 100 | 24 | 1 | 0 | 0 | 313 |
| 中旬 | 190 | 104 | 19 | 1 | 0 | 0 | 314 |
| 下旬 | 196 | 97 | 19 | 1 | 1 | 0 | 314 |
| 合計 | 574 | 301 | 62 | 3 | 1 | 0 | 941 |
| 合格率 | 61.0 | 32.0 | 6.6 | 0.3 | 0.1 | 0 | 100 |

地区別個乳合格率

| 地区旬 | 当幌 | 中標津 | 俵橋 | 開陽 | 武佐 | 第二俣落 | 俣落 | 平均 |
|-----|-----|------|-----|-----|------|------|-----|------|
| 上旬 | 100 | 100 | 100 | 100 | 98.2 | 100 | 100 | 99.7 |
| 中旬 | 100 | 98.0 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 99.7 |
| 下旬 | 100 | 100 | 100 | 100 | 96.5 | 100 | 100 | 99.5 |
| 月平均 | 100 | 99.0 | 100 | 100 | 98.2 | 100 | 100 | 99.6 |

9 月 乳 質 検 査 成 績 表

中 標 津 農 業 協 同 組 合

| 組合員名 | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 組合員名 | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 組合員名 | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 |
|-----------|---|---|----|---------|----|------|------|---------|----|------|------|---------|---|------|----|----|----|
| 当 幌 地 区 | | | | | | 高藤祐蔵 | 0 | 0 | 0 | 高橋一男 | 1 | 1 | 1 | 大西英明 | 0 | 0 | 0 |
| 飯島光五郎 | 0 | 0 | 0 | 連田弘 | 0 | 0 | 0 | 高平幸夫 | 0 | 0 | 0 | 福島昭憲 | 0 | 0 | 0 | | |
| 飯島清一 | 0 | 0 | 0 | 永谷雄幸 | 0 | 0 | 0 | 中本要次郎 | 0 | 0 | 0 | 下川原秀子 | 0 | 0 | 0 | | |
| 奥田勝佳 | 1 | 0 | 0 | 長繩弘 | 0 | 1 | 1 | 半沢かね | 0 | 2 | 1 | 三輪貞夫 | 0 | 0 | 0 | | |
| 奥田岩男 | 0 | 0 | 0 | 麻郷地忠 | 1 | 0 | 0 | 国見正雪 | 1 | 1 | 1 | 西山一義 | 0 | 0 | 0 | | |
| 中山安寿 | 1 | 1 | 1 | 麻郷地忠勝 | 1 | 1 | 0 | 国見実 | 0 | 0 | 1 | 佐々木武雄 | 0 | 0 | 1 | | |
| 山川健三 | 0 | 0 | 1 | 小針晴信 | 1 | 0 | 1 | 齐藤哲雄 | 1 | 1 | 1 | 日下一芳 | 0 | 0 | 0 | | |
| 阿部俊勝 | 0 | 1 | 1 | 佐藤吉次 | — | — | — | 齐藤栄七 | 0 | 0 | 0 | 石田春夫 | — | — | — | | |
| 鈴木吉三 | 1 | 0 | 1 | 花川秀一 | 0 | 1 | 1 | 伊藤七郎 | 1 | 0 | 0 | 加茂正毅 | 0 | 0 | 0 | | |
| 西垣信男 | 2 | 1 | 1 | 古沢龟治 | 1 | 0 | 0 | 千葉清一 | 0 | 0 | 0 | 佐々木政行 | 2 | 1 | 2 | | |
| 小原治 | 1 | 0 | 0 | 花川稔 | 0 | 0 | 0 | 村井直行 | 0 | 1 | 1 | 三友盛行 | 0 | 0 | 1 | | |
| 吉田繁行 | 0 | 0 | 0 | 今井秀和 | 1 | 0 | 0 | 山崎正喜 | 1 | 1 | 1 | 高島貞作 | 0 | 1 | 0 | | |
| 竹村満夫 | 1 | 1 | 1 | 東原正広 | 0 | 0 | 0 | 松本嘉吉 | — | — | — | 福島信一 | 0 | 0 | 0 | | |
| 高橋常次 | 1 | 0 | 1 | 岡部実 | 1 | 1 | 2 | 後藤田信夫 | 0 | 1 | 0 | 古田起雄 | 1 | 0 | 1 | | |
| 筒井留雪 | 0 | 0 | 0 | 渡辺善行 | 0 | 0 | 0 | 齐須安雄 | 0 | 1 | 1 | 本田萌 | 0 | 1 | 1 | | |
| 筒井正守 | 0 | 0 | 0 | 田島育三 | — | — | — | 今井靖清 | 0 | 1 | 1 | 中村敏夫 | 0 | 1 | 0 | | |
| 室井太吉 | 0 | 0 | 0 | 竹村昇 | — | — | — | 山田良太郎 | 1 | 1 | 0 | 真野勇 | 1 | 1 | 1 | | |
| 安田康正 | 1 | 1 | 0 | 松隈健二 | 0 | 2 | 2 | 房川喜延 | 1 | 1 | 0 | 多田俊夫 | 1 | 1 | 1 | | |
| 山田一男 | 1 | 1 | 0 | 小林義忠 | 2 | 0 | 1 | 笹淵二郎 | 0 | 0 | 0 | 小岩正一 | 0 | 0 | 0 | | |
| 松田昌介 | 0 | 0 | 1 | 古瀬イセ | 0 | 0 | 0 | 井上亮夫 | 2 | 0 | 2 | 伏見哲 | 1 | 1 | 1 | | |
| 舟田正明 | 1 | 1 | 1 | 藤本久雄 | 1 | 2 | 1 | 笠井剛 | 0 | 0 | 0 | 中川一平 | 1 | 1 | 0 | | |
| 菊地良 | 1 | 1 | 2 | 小川清 | 0 | 0 | 0 | 赤堀岩男 | 0 | 0 | 0 | 武 佐 地 区 | | | | | |
| 遠田要三 | 0 | 0 | 0 | 佐藤道嘉 | 0 | 0 | 0 | 鈴木敏夫 | 0 | 1 | 1 | 丹羽孝 | 0 | 0 | 0 | | |
| 西山高蔵 | 1 | 2 | 1 | 佐藤末美 | 1 | 0 | 1 | 俵 橋 地 区 | | | 丹羽正明 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 長正路正義 | 0 | 0 | 0 | 佐藤弘 | 1 | 1 | 0 | 名越成夫 | 2 | 1 | 1 | 亀井泉 | 0 | 0 | 0 | | |
| 大野正己 | 0 | 1 | 1 | 佐藤永雄 | 0 | 0 | 0 | 佐藤清 | 1 | 0 | 0 | 中司哲弥 | 0 | 0 | 0 | | |
| 吉成はな子 | 0 | 0 | 0 | 佐藤東 | 0 | 0 | 0 | 乾守夫 | 1 | 0 | 0 | 上原徳義 | 0 | 1 | 0 | | |
| 福村守 | 1 | 1 | 1 | 望月幸男 | 0 | 3 | 1 | 乾勝美 | 0 | 0 | 0 | 工藤政義 | 0 | 0 | 0 | | |
| 遠藤弘成 | 1 | 1 | 0 | 白築政博 | 0 | 0 | 0 | 伊東武 | 0 | 0 | 0 | 舟橋清高 | 0 | 0 | 0 | | |
| 笠原金吾 | 2 | 1 | 0 | 武田勇 | 2 | 2 | 0 | 大山富雄 | 2 | 2 | 2 | 酒井清志 | 0 | 0 | 0 | | |
| 唐崎幸司 | 0 | 0 | 0 | 高橋敏夫 | 2 | 1 | 1 | 山下孝二 | 1 | 0 | 0 | 目黒雅隆 | 0 | 0 | 1 | | |
| 中 標 津 地 区 | | | | | | 熊倉彦吉 | 0 | 1 | 1 | 北川栄治 | 1 | 0 | 2 | 千葉弘 | 0 | 0 | 0 |
| 緩坂欣一 | 0 | 2 | 1 | 小林茂雄 | 2 | 1 | 0 | 水本勘蔵 | 0 | 0 | 0 | 工藤剛 | 0 | 0 | 0 | | |
| 緩坂恭民 | 0 | 1 | 0 | 阿部正六 | 1 | 1 | 0 | 水本一三 | 0 | 0 | 0 | 児島喜一 | 2 | 1 | 2 | | |
| 吉川晴久 | 0 | 1 | 0 | 佐藤三男 | 0 | 0 | 0 | 山本正八 | 0 | 0 | 0 | 児玉光彦 | 0 | 0 | 1 | | |
| 滝場光明 | 0 | 1 | 1 | 長淵貞義 | 1 | 1 | 0 | 榎田英雄 | 1 | 1 | 1 | 坂口亀一 | 2 | 2 | 2 | | |
| 久保慶一郎 | 1 | 0 | 0 | 開 陽 地 区 | | | 穴吹貞明 | 1 | 1 | 2 | 白田穰 | 0 | 1 | 0 | | | |
| 久我良夫 | 1 | 0 | 0 | 土井上昭男 | 0 | 0 | 1 | 佐藤正男 | 0 | 0 | 1 | 新谷正二 | 0 | 0 | 0 | | |
| 正城純一 | 0 | 0 | 0 | 向館金吾 | 0 | 0 | 1 | 佐々木文作 | 1 | 1 | 1 | 井口精一 | 0 | 0 | 1 | | |
| 荒昭一 | 0 | 1 | 1 | 山田輝男 | 2 | 2 | 2 | 野口忍 | 1 | 0 | 0 | 川上茂 | 0 | 0 | 0 | | |
| 桜井誠造 | 0 | 0 | 0 | 船越政雄 | 1 | 0 | 0 | 太田功 | 0 | 2 | 0 | 石橋喜作 | — | — | — | | |
| 佐々木繁雄 | 1 | 0 | 0 | 浅野トミ子 | 1 | 2 | 2 | 岡次郎 | 1 | 1 | 0 | 長谷川寿 | 0 | 0 | 0 | | |
| 佐藤晴信 | 0 | 0 | 0 | 吾妻寅男 | 0 | 0 | 0 | 金子安有 | 0 | 0 | 0 | 花尻武夫 | 1 | 1 | 1 | | |
| 奥村武雄 | 1 | 2 | 2 | 鈴木嵩 | 2 | 1 | 1 | 高野勇 | 0 | 0 | 0 | 中条由治 | 0 | 0 | 0 | | |
| 阿部忠次郎 | 2 | 2 | 2 | 桜井精治 | 0 | 0 | 1 | 中林勇 | 0 | 0 | 0 | 中条幸作 | 0 | 0 | 0 | | |
| 三森章司 | 1 | 1 | 0 | 横田孝博 | — | — | — | 工藤隆弘 | 1 | 0 | 1 | 奥村保章 | 1 | 1 | 2 | | |
| 川手輝雄 | 1 | 1 | 1 | 高橋寅之助 | 0 | 0 | 0 | 赤波江清 | 1 | 0 | 1 | 萱岡信二 | 0 | 0 | 0 | | |
| 下山恵市 | 0 | 0 | 0 | 中本栄太郎 | 0 | 1 | 0 | 沢口正志 | 0 | 0 | 0 | 高橋昌信 | 0 | 1 | 1 | | |
| 石崎多門 | 0 | 0 | 0 | 丸田良夫 | 0 | 0 | 0 | 桜井義雄 | 0 | 0 | 0 | 中塚秀夫 | 1 | 1 | 2 | | |
| 林仁一郎 | 1 | 1 | 0 | 鈴木重蔵 | 0 | 0 | 0 | 大西秀良 | 0 | 1 | 1 | 黒田定利 | 2 | 2 | 1 | | |



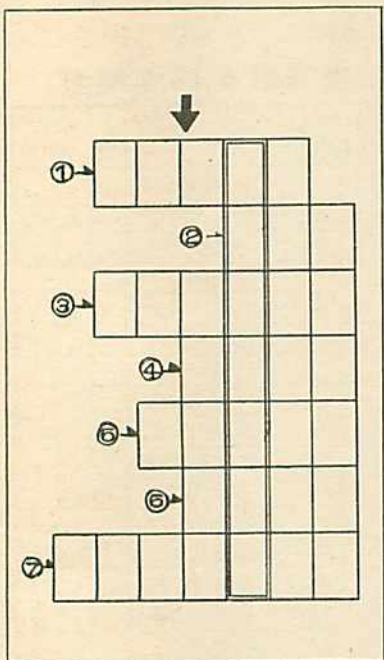
くいいず???

あなたもやってみよう

解き方

ヒントの絵(①~⑦)に関係のある言葉を、マス目の中に入れてから、二重ワクの七文字を上から下へ読むと、ある言葉ができます。その言葉だけをハガキに書いて送ってください。

(ヒント)



★応募規定★

①官製はがきに答えを書いて送って下さい。

②氏名・年令・住所

③対象 小・中学生

④宛先 中標津町東七条南二丁目

中標津農協 組織農政係

※切日は十月十五日

※正解者十名に記念品贈呈、正解者多数のときは、抽選で決めます。

九月号の正解は「アキノナナク

サ」でした。次の十名の方に記念品を差上げますので農協へとりに来て下さい。

(依橋)佐藤のぶ子さん、佐藤やす子さん、(東依橋)森島靖雄君、(南依橋)赤波江和人君、赤波江かおりさん、(東保落)板橋靖君、板橋匠君、(保落)渡辺一夫君、渡辺秋男君、(群馬)佐藤美登里さん。



夏のアイデア

五目

ぞうじ

々をふりかけておく。生しいたけⅡじくをとり、そぎ切りに。みつ葉Ⅱ二〜三cm長さに切る。にんじんⅡ花型に抜き、薄切りに。ゆでたけのこⅡ二〜三cm長さに薄く切る。

(作り方)①ご飯はざるに入れ、水か湯でさつと洗って粘りをとり、水をきる。②鍋にだし汁カップ五と塩、酒、化学調味料を入れて火

(材料)ご飯：軽く茶碗四杯分、
 芝えび：二〇〇g、生しいたけ：
 四枚、みつ葉：まわ、にんじん：
 小半本、ゆでたけのこ：小半本、
 だし汁：カップ五、淡口しょうゆ：
 少々、塩：小さじ半、酒：大さ
 じ二

(下ごしらえ)芝えびⅡ背わたを
 除き、殻を全部むいて塩と酒各少

●今年の夏は妙なお天気でした。体調をくずされた方も多いのでは？、東京の方では長い間雨が降り続きました。中標津地方、九月に入ってや、天気がぐづついたようです。やはり夏は暑いのが一番。秋から冬へかけては正常なお天気だと良いですね。

●美人であれば、きれいだ、うつくしいと万人にいわせしめる。だが、万人に愛され、かわいがられるか、というところではない。

●交通事故死―北海道は全国一という。スピードの出し過ぎ、追越しなどの無謀運転、酒酔い運転などはぜひにしないよう気を付けましょう。

●これからは天高く馬肥ゆる季節。働くにも最高の季節です。充実した毎日をお過ごし下さい。

(文責 横山)